

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あみ		
○保護者評価実施期間	R6年11月5日	～	R6年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 23名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	R6年11月1日	～	R6年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・高齢者及び障害者のサポートを総合的に行っている事業所であること	・施設の1階がデイサービス、2階が放デイとなっており、お年寄りの方々と交流の機会（花見遠足、秋祭り等）を数多く設定することで、子供たちに思いやりの心が育っている。	・イベントのみならず、日常的に触れ合う機会の充実を図っていききたい。
		・利用者の送迎を放デイスタッフだけでなく、会社の他の事業所のスタッフの協力を得て行うことで、保護者のニーズに応えることができている。	・ラインワークスを活用し、スタッフ同士の情報共有を円滑にすることで、協力体制をより強固なものにしていく。
2	・未就学児から高等学校等までの子供たちが、同じフロアで一緒に過ごすことにより、異学年交流が自然にできる環境にあること	・大きなフロアをマットコーナーと机・イスを配置したコーナーに分け、興味のある活動や遊びに応じた使い方ができるようにしてある。また、一人一人の興味・関心に応じた個別の支援にも配慮している。	・一人一人の興味・関心に応じた活動の場の在り方をさらに工夫していききたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・SNS等を使ったタイムリーな情報提供を行っていないこと	・日常の業務の他にSNSを活用した情報提供を行うゆとりがなかったため。	・今後インスタ等の環境を整え、日々の活動や行事の様子を保護者の皆様にお知らせできるように努めていく。
2	・地域との連携・交流や家族との連携・支援などの面が不十分であること	・年度当初スタッフが大幅に代わったこともあり、現在、保護者との連携・交流を「あみ通信の発行」「連絡帳」「個別懇談会」「日々の送迎時の伝達」などを通じて図っているところである。	・今後、HPやインスタ等を活用して、ご家族だけでなく地域等へも情報を積極的に発信するとともに、地域との交流の機会を設けていきたい。